

生産現場での活用が進むIoTデバイス技術

2020.3.12 (木) 13:30 ~ 上智大学 四谷キャンパス

IoT (モノのインターネット) により、センサによる物理量検出から、新しい価値やサービスを生み出す試みが様々になされている。一般家庭に先んじて、工場や農場などの生産現場に技術導入が進んでいる。最新状況を、トップランナーの研究者から話題を提供頂き、展望と今後重要な研究テーマについて議論する。

招待講演

和戸 弘幸 (デンソー)

「生産現場の見える化に
おけるセンシングニーズ」



吉見 浩一郎 (富士電機)

「製造現場におけるIoTソリューション」



山本 圭一 (NTT docomo)

「海の見える化から予測へドコモのICTブイ」



堂腰 顕 (北海道立総合研究機構)

「家畜センシングの現状と展開方向」



平藤 雅之 (東京大学)

「農業ビッグデータのためのIoTデバイス」



川原 圭博 (東京大学)

「デジタルファブリケーションによる回路・センサ・アクチュエータの印刷とIoT応用」



企画：集積化MEMS技術研究会
<http://annex.jsap.or.jp/MEMS/>

一般講演 (数件募集中)

世話人：佐々木実 (豊田工大), 日暮栄治 (産総研), 町田俊太郎 (日立), 曾根正人 (東工大)